

様式1号
(総括票)

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社 デリシア (旧 株式会社アップルランド)							
代表者名	氏名	阿部 仁志			役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	長野県松本市大字今井7155-28							
主たる事業の分類	大分類	I 卸売・小売業						
	中分類	56 各種商品小売業 (3)						
主たる事業の概要	・スーパーマーケット事業 ・外食事業 ・宅配事業							
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	上記以外 (任意提出) の事業者						
原油換算エネルギー使用量	12,485	k1	その他ガス排出量合計	0	t-CO ₂	自動車の台数	13	台

2 計画期間及び報告対象年度

計画期間	26	年度	~	28	年度	報告対象年度	28	年度
------	----	----	---	----	----	--------	----	----

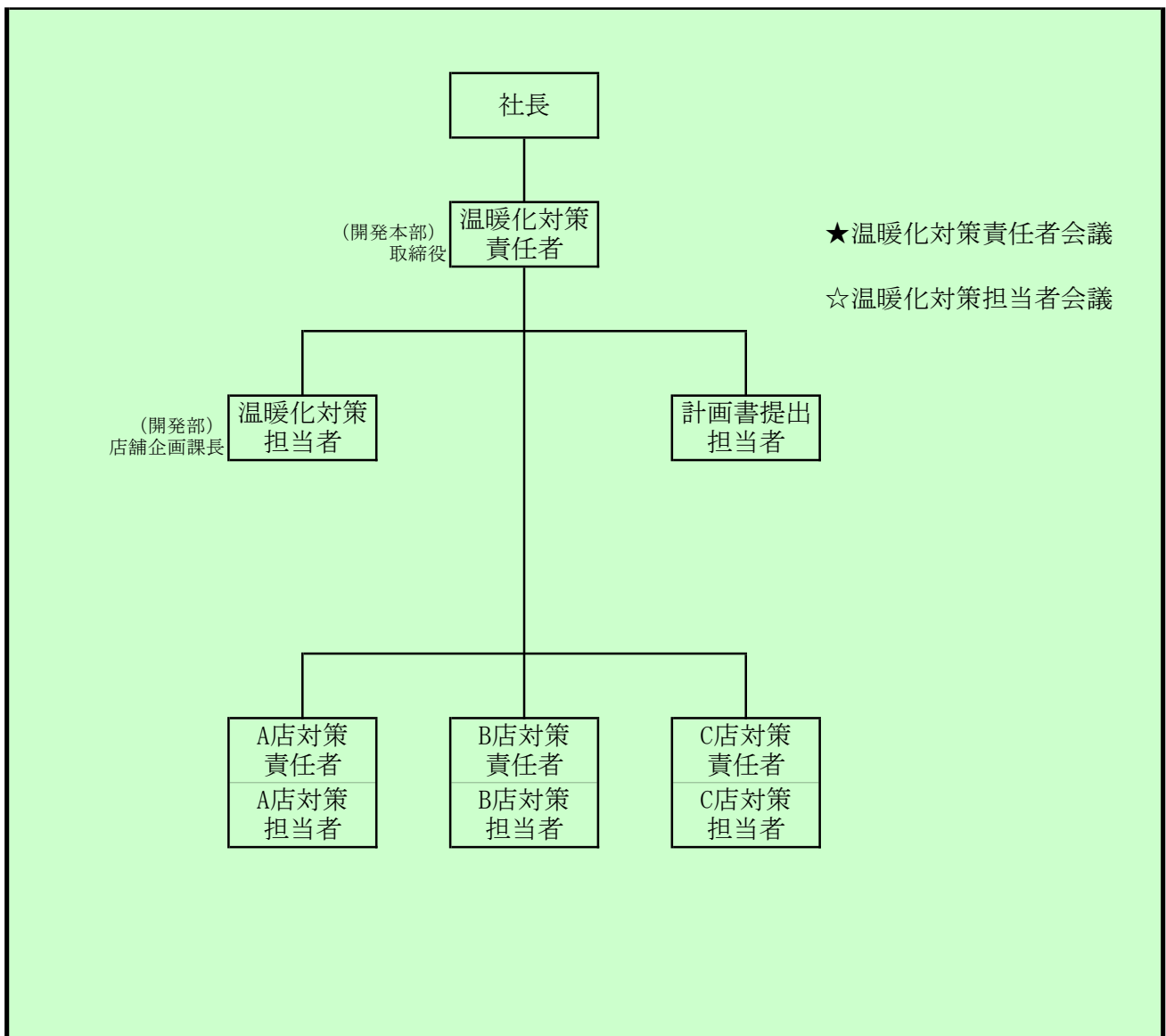
3 計画書 (報告書) の公表方法等

<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ	https://www.delicia-web.co.jp/
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

アルピコグループに属する当社は、信州に暮らす人々とその素晴らしい自然環境を愛し、地域社会との協調・共存を目指し、環境との調和を図ります。
標記目標達成のため、社内プロジェクトを立上げ具体的な抑制目標達成方法について協議・検討を行います。また、エネルギー使用量把握のため「エネルギーの見える化」を具体化します。更に店長集会等で抑制目標達成のための研修を定期的を実施します。

5 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	26,954	t-CO ₂	売上高	4,115	単位	千万円	
25年度	調整後排出量	20,201	t-CO ₂	基準原単位	6.55	t-CO ₂ /	千万円	
目標年度	目標排出量	26,549	t-CO ₂	目標原単位	6.45	t-CO ₂ /	千万円	寄与度の合計から求めた目標削減率※
	目標削減率	1.50	%	目標削減率	1.50	%		
目標設定に関する説明	当社全体政策を元に個店毎に具体化策を立て削減を実行すると共に、その数値結果を定期的にフィードバックし、実行中の具体化策の検証と修正及び更なる削減策の立案・実行へと繋げ当初目標を達成します。							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	25,271	t-CO ₂	売上高	4,325.30	単位	千万円	
	調整後排出量	25,093	t-CO ₂	原単位	5.84	t-CO ₂ /	千万円	寄与度の合計から求めた目標削減率※
26年度	削減率	6.24	%	削減率	10.83	%		
排出量等の増減理由	排出量の削減では、店長集会で省エネ勉強会を定期開催し、省エネプロジェクトにおいて具体的な削減方法について協議・検討し、更に店舗への省エネパトロールを実施して省エネの着地度を高めました。ハード面では老朽化したボイラー設備から高効率のEHP空調設備への更新や冷ケースへのエコスクリーン全店設置で冷却効率をアップしました。又、店舗改装に合わせLED照明への切替による省エネを図りました。営業面では新店舗の開店や改装及び消費税導入前の駆け込み需要による売上増がありました。							
第二年度	排出量	25,146	t-CO ₂	売上高	4,325.40	単位	千万円	
	調整後排出量	25,009	t-CO ₂	原単位	5.81	t-CO ₂ /	千万円	寄与度の合計から求めた目標削減率※
27年度	削減率	6.70	%	削減率	11.29	%		
排出量等の増減理由	照明器具のLED化及び冷凍機の省エネタイプへの機器入替を実施。また新店、改装店については冷凍食品、アイスクリームのケースをリーチインタイプにすることにより冷気漏れを防ぎ冷凍機の稼働を削減することが出来た。							
第三年度	排出量	25,801	t-CO ₂	売上高	4,045.80	単位	千万円	
	調整後排出量	25,612	t-CO ₂	原単位	6.38	t-CO ₂ /	千万円	寄与度の合計から求めた目標削減率※
28年度	削減率	4.27	%	削減率	2.59	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	照明器具のLED化及び冷凍機の省エネタイプへの機器入替を継続実施。							

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位		
25年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率※
	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率※
26年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率※
27年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率※
28年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	74	t-CO ₂			
25年度						
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	削減率		%
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量	59	t-CO ₂	削減率	20.27	%
26年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量	58	t-CO ₂	削減率	21.62	%
27年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量	28	t-CO ₂	削減率	62.16	%
28年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		実績	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	110102 人材育成及び省エネルギー教育	26	10	26	100
2	エネ起	110104 目標設定、実行計画の策定	26	30	26	100
3	エネ起	110202 保全計画、管理	26	50	26	200
4	エネ起	110403 月使用量、月負荷変動	26	50	26	100
5	エネ起	120402 冷却塔の水質管理	27	5	27	10
6	エネ起	130101 設定温度、湿度の適正化	27	100	27	150
7	エネ起	130105 運転時間、ファン動力の軽減対策	27	50	27	80
8	エネ起	150204 適正照度の管理	27	80	27	100
9	エネ起	160101 台数制御	28	20		
10	エネ起	160202 窓の断熱性、機密性	28	10		

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	6,753		178	137	189
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出状況 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	株式会社 デリシア (旧 株式会社)	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	47	26,954	47	25,271	47	25,146	47	25,801
合計	47	26,954	47	25,271	47	25,146	47	25,801

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出状況 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	0
CH ₄	0	0	0	0
N ₂ O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF ₆	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数及び導入計画 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他				
合計	0	0	0	0
自動車総数	20	20	20	13
次世代車導入割合				

様式1号
(総括票)

1.4 中小企業支援

区分	内容
中小企業への省エネ診断	特になし
その他	

1.5 交通対策

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	特になし
公共交通機関の利用促進	特になし
来客者の交通対策	特になし
物流の合理化	特になし

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1		
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	特になし
第一年度実績	特になし
第二年度実績	特になし
第三年度実績	特になし

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO ₂)
基準年度以前の取組み	特になし	
その他		